

土木学会コンクリート委員会
平成 19 年度 第 2 回規準関連小委員会 議事録 (案)

日 時：平成 19 年 8 月 1 日 (水) 14:00～16:30

場 所：土木学会 2 階 A 会議室

出席者：橋本親典 (委員長), 鎌田敏郎 (幹事長), 濱田秀則 (担当幹事), 荒巻智, 伊藤康司, 岩波光保, 上野敦, 浦野真次, 江口和雄, 小川洋二, 片平博, 国枝稔, 酒井修平 (代理:小野), 新藤竹文, 田中秀樹, 椿龍哉, 寺村悟, 中村雅之, 原田修輔, 八木圭太郎 (敬称略)

配布資料：

- 2-0 平成 19 年度第 2 回規準関連小委員会 議事次第
- 2-1 平成 19 年度第 1 回規準関連小委員会 議事録案
- 2-2 規準関連小委員会委員構成 (案)
- 2-3 単位水量の試験方法について (伊藤委員)
- 2-4-1 四電極法による断面修復材の体積抵抗率測定方法 (案)
- 2-4-2 四電極法による断面修復材の体積抵抗率測定方法 (案) 一解説
- 2-4-3 実構造物における断面修復材の体積抵抗率測定方法 (試案)
- 2-4-4 四電極法による断面修復材の体積抵抗率測定方法 (案) ほか, 修正事項一覧表
- 2-4-5 四電極法による断面修復材の体積抵抗率測定方法 (案) ほか, 修正事項
- 2-5 2007 年コンクリート標準示方書規準編土木学会規準および関連規準の修正事項
- 2-6 JIS A 5308 改正一次原案に対する意見
- 2-7 講習会収支決算書
- 2-8 2002 年制定 コンクリート標準示方書[施工編]抜粋 (会議中に配布)

議 事：

1. 委員長挨拶および委員紹介

- ・ 橋本委員長より開会挨拶があり, 委員交代もあったことから, 各委員の自己紹介が行われた。

2. 前回議事録の確認

- ・ 資料に基づき, 浦野委員より議事録案が紹介され, 承認された。なお, 以下の点を再確認した。
 - セメント・骨材・混和材料 WG の主査を上野委員にお願いした。
 - 発刊された規準編の訂正や質問などへの対応が, 今年度の主な活動になる見込みである。
 - J14 漏斗のキャリブレーションが必要か否かについて, フレッシュコンクリート WG にて審議する。

3. 第 2 回コンクリート常任委員会報告

- ・ 橋本委員長より, 委員交代等について承認された件等の報告があった。

4. 各 WG からの活動報告

(1) フレッシュコンクリート WG

- ・ 単位水量を測定する試験方法を整備すべきとの要請に対し, 伊藤委員から, 生コンを対象とした単位水量の試験方法現状等について, 説明がなされた。また, 以下のような意見が出された。
 - いくつかの試験方法が提案されているが, 高周波加熱法, エアメータ法が最も多く用いられ

ているのが現状である。

- 国交省で行っている単位水量の測定は、厳密な単位水量を測定することが目的ではなく、あくまでも極端に異なる水量のコンクリートをスクリーニングするためのものである。
 - 塩化物含有量の測定に関しても、規準化はされていない。
 - RI 法は、建材産業協会で規格化されている。
 - 示方書の関連部分との対応を明確にするとよい。
- ・ 以上をふまえ、以下の点を確認した。
 - 今回の調査の対象となった試験方法をすべて掲載することは適当ではない。一方で、土木学会として新たに試験方法を規定するのは現段階では難しい。従って、関連規準として掲載する方向で調整する。
 - 次回までに、関連規準として掲載できる候補を提案する（フレッシュコンクリート WG）。また示方書〔施工編〕のどの部分にて引用できるか、その対応関係も明確にし、コンクリート常任委員会に提案するために資料を作成していただく。

(2) 補修、注入材等 WG

- ・ 濱田主査より、資料に基づき、前回からの修正点について説明があった。
- ・ 四電極法の試験方法については、11/21 のコンクリート常任委員会に提案できるよう、引き続き各委員にはチェックをお願いし、意見等を 8/15 までに江口委員に集約する。
- ・ (注)、(備考)、(参考) の使い分けについては、少なくとも参考を無くす方向で修正する。

5. その他

(1) 土木学会の漏斗試験器の件

- ・ 先述のとおり、漏斗のキャリブレーションに関する記述が必要か否かについて、フレッシュコンクリート WG 主査の黒井委員に橋本委員長が説明し、フレッシュコンクリート WG にて審議して頂き、次回の本委員会に審議状況を報告していただく。

(2) 規準編の修正事項の件

- ・ 鎌田幹事長より、先に発刊された規準編の修正事項の説明がなされた。正誤表として掲載すべき事項は 6 項目であり、残りの 3 項目については、対応する WG にて審議する。正誤表については、出版事業課の小野寺氏に学会ホームページへの掲載を依頼する。
- ・ 上記と並行して規準関連小委員会のホームページへの掲載も検討することとし、これにあわせて、委員構成、議事録、改定の要点（講習会のパワーポイント）についての情報を更新する。

(3) JIS 改定意見照会集計結果

- ・ 鎌田幹事長より、JIS A 5308 改正案に関する意見集約結果が報告された。

(4) 講習会収支決算報告

- ・ 5/29 に開催された講習会の収支決算が紹介された。

6. 次回開催予定

日時：平成 19 年 11 月 6 日（火）14:00～17:00

場所：土木学会会議室（予定）

以上